

令和4(2022)年度 ウィークエンド青少年セミナー③実施報告

実施日：令和4年10月29日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年がボランティア活動や地域活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びをとおり、活動の企画・運営などの実践力を身に付けることをねらいとし、9～12月に全5回の内容で実施します。第3回も栃木県総合教育センターで実施し、最終日の「学びの杜の冬休み」での実践に向けて、各班で企画の内容を考えました。

演習「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しめる企画を考える②」

総合教育センター職員

今回は、前回話し合ったことを確認してから、班ごとに企画書の完成をめざしました。

前半は、班のメンバーと協力して、参加対象や定員、講座の進め方、役割を決めました。参加者が円滑に活動できるようにするための手立てや、参加者が困っているときの支援などについて話し合いました。参加者に楽しんでもらいながら、学びや気づきを得られるような活動を提供するにはどうしたらよいか、活動の時間配分や安全面への配慮なども含めて企画を練りました。

後半は、講座を一緒に行う班と講座テーマや講座順について話し合いました。共通のテーマを元に、小学生が「やってみたい！」と思うような、人を引きつけるネーミングについて、積極的に意見交換を行いました。また、講座で使うものを試作し、必要な材料についても素材や分量など細かいところまで検討し、実践に向けてイメージを膨らませていました。



受講者の感想より

- 自分たちが制作したいものに使用する材料や、作業時間を考慮した事前準備が重要であると再確認することができました。また、他の班と意見を交流したことで、自分の考えが深まりました。
- 実験では自分が作る時間に加えて、参加者に教えたり、様子を見ながら進めたりしていくことと、そのための時間配分も大切であることがわかりました。
- 子どもに伝わりやすいようにするには、どうすればよいかを話し合うことができました。楽しんでもらえるように考えました。
- 参加者について決めたり、参加して学んでほしいことを考えたりすることで、講座について具体的に考えられました。具体化することで、より一層モチベーションをもって活動できたと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp